

競争入札経過調書（総合評価落札方式(除算方式)）

件 名 大島空港庁舎改修工事

開札年月日 令和7年10月16日（落札決定日 令和7年12月5日）

入札執行官署 東京航空局

落札金額 ￥15,103,000 -

落札者 株式会社アスムコーポレーション

予定価格 ￥24,710,290 -

積算額 ￥24,710,290 - 入札書比較価格（予定価格の100/110） ￥22,463,900 -

調査基準価格 ￥22,473,301 - 調査基準価格の100/110 ￥20,430,274 -

基準評価値 445.158

低入札価格調査実施済 第1回 落札

入札参加者	評価点 (満点 122点)	第1回入札			第2回入札			摘要
		入札金額	評価値	評価値 ≥ 基準評価値	入札金額	評価値	評価値 ≥ 基準評価値	
株式会社アスムコーポレーション	112.0	13,730,000	815.731	○				第1回 落札
株式会社栄代	-	25,406,000	-					
株式会社スタイリッシュハウス	-	不着	-					

※ 入札金額は入札者が見積もった契約希望金額の110分の100に相当する金額である。
 ※ 予定価格（入札書比較価格）の範囲内の入札金額であり、評価値の最も高い者を落札者とする（なお、その範囲に満たない入札金額の場合は、各点数を表示しない。）。
 ※ 評価値は、評価点を各回入札の入札金額（億単位換算）で除して算出する（小数点以下第3位まで表示）。
 ※ 落札決定に当たっては、入札書に記載された金額に当該金額の10%に相当する額を加算した金額（1円未満の端数は切り捨て。）をもって落札金額とする。

低入札価格調査の実施概要

工 事 名 : 大島空港庁舎改修工事

調査を実施した業者名・住所 : 株式会社アスムコーポレーション 福岡県福岡市西区大字羽根戸168-1

項 目	内 容
① その価格により入札した理由	入札金額は、直近の同種工事の経験や離島工事の経験から管理費の削減について社内で検討を重ねるとともに、熟練した技術者に限定して配置を行うことで、施工・管理効率を向上させコストの削減を図ると共に、これまでの施工実績と技術力に基づき工事価格を算出したうえで決定していることを確認した。
② 契約対象工事付近における手持工事の状況	本工事付近における手持ち工事は0件である。
③ 契約対象工事に関連する手持工事の状況	経費削減につながるような関連工事はない。 また、手持ち工事に関する技術者情報を確認したところ、本工事に配置予定監理技術者が担当する工事が1件あったが、現在、担当変更の申請手続き中であり、着工時には問題ことを確認した。
④ 契約対象工事箇所と入札者の事業所、倉庫等の関連（地理的条件）	契約対象工事箇所と事業所は直線距離で105.26kmであり、現場と同じ島内には事業所や倉庫はなかった。 そのため、経費等の削減につながるものではなく、緊急時の対応や安全管理に優位性はないが、不適當とは言い切れない。
⑤ 手持資材の状況	手持ち資材の状況を帳簿や保管状況写真等によりシーリング材等を有していることを確認したが、現時点では当該工事で活用予定はないことを確認した。 なお、現場着工後、数量等の変更が生じた場合には、新品に限り活用できる材料であることはヒアリングにて確認している。
⑥ 資材購入先及び購入先と入札者との関係	資材購入先については、長年（2～5年以上）取引実績のある1次下請予定者から購入することを確認した。 なお、取引実績に基づく1次下請予定者の協力による見積書の価格が、入札内訳書に概ね同価格で計上されていることを確認した。
⑦ 手持機械数の状況	本工事では使用する手持ち機材はない。
⑧ 労務者の具体的供給見通し	本工事に必要となる工種毎の労働者が確保され、適切な施工が可能であることをヒアリングによって確認した。
⑨ 過去に施工した公共工事名及び発注者	過去に施工した公共工事名等を確認し、そのうち2件の施工体制台帳及び請負代金内訳書等の資料等を確認したが、不適切な内容などは見当たらなかった。
⑩ 経営内容	過去にも多くの官公庁発注の工事を受注しており問題無い。
⑪ 1から10までの事情徴収した結果についての調査検討	調査の結果、本工事仕様については当局と概ね合致していた。 直接工事費については、直接仮設、防水改修及び非常用照明設備工事に乖離が見られたが、長年取引実績のある下請予定者の協力によって施工可能であることを見積書等により確認した。 共通費における共通仮設費は、大きな乖離はなく、必要経費が計上されている。現場管理費及び一般管理費等は、乖離が認められたが、直近の同種工事及び離島工事の経験から管理費の削減が可能であること、また、その必要経費が計上されていることをヒアリングにより確認した。 なお、作業上必要となる作業者については、職種毎の人数を確認し、その労務費も下請予定者と調整が整っていることをヒアリングで確認した。 また、現場の管理体制については、下請予定者に一括で管理を任せることなく、常駐する現場代理人と定期的な検査及び巡査を行う監理技術者及び監理技術者補によって管理され、工期内に確実に施工可能であることもヒアリングで確認した。 よって、契約の内容に適合した履行がなされない恐れがあるとは認められなかった。 ただし、今後、監督体制を強化（主任現場監督員を1名追加）し、品質の確保、労働条件の悪化防止、安全対策の確保等に努めることとする。
⑫ 公共工事の成績情報	過去の実績において概ね良好に施工されている。
⑬ 経営状況	特に問題なし。
⑭ 信用状況	特に問題なし。
⑮ その他の必要事項	特になし。